

事務事業名		地域おこし協力隊集落営農連携モデル事業		所属部	農林振興部	所属課	農政課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	担い手支援G	課長名	熱田勇二
	施策名	(34)農業の振興		担当者名	山本泰司	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2412
	基本事業名	(098)担い手の育成		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 農業振興事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 5 8 6 地域おこし協力隊集落営農連携モデル事業		
目的:対象	農家・市民		意図	農業の担い手になる。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R元 年度 ~ R4 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
委託型地域おこし協力隊を配置し、隊員のスキルや経験を活かして担い手広域連携組織による持続可能な農業を進めるためのビジネスモデルの確立に取り組む

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		・広域連携組織の維持可能な農業経営に向けた収益事業内容等の検討 ・広域連携組織及び構成組織の経営安定化、農産物の販売促進及びブランド力向上に向けた検討 ・新規就農希望者に向けた具体的な受け入れ情報をまとめ、積極的な担い手の募集	業務内容は同左 (2年目追加業務) ・高度な農業技術及び専門知識の習得と大型特殊運転免許など関係する各種資格・免許の取得			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 協業経営型以上の経営体組織	組織	29	32	34	34
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	就農希望者・集落営農組織	ア 集落営農組織	組織	89	92	92	92
		イ					
		ウ					
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
新たな農業就農者の確保。集落営農組織、農事組合法人の組織力の向上による、集落環境の維持向上。	ア 集落営農法人	組織	22	24	25	25	
	イ 連携組織による新規雇用就農者	人	-	-	0	1	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
委託料	1,122千円	事業費	国庫支出金	千円				
補助金	480千円		県支出金	千円				
計	1,602千円		地方債	千円				
			その他	千円			1,602	3,384
			一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円			1,602	3,384	
		人件費	正規職員従事人数	人			1	
			延べ業務時間	時間			119	
		人件費計 (B)	千円				505	
		トータルコスト(A)+(B)	千円				2,107	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
地域農業の様々な課題を解決するため、集落営農組織や認定農業者等の農業担い手が広域的に連携する取組が進みつつある。	広域連携組織による持続可能な農業を進めるための広域連携ビジネスモデルを検討するため、令和元年度に地域おこし協力隊を1名配置。	既存の広域連携組織から、取り組むべき事業の具体化や広域連携ビジネスモデルの確立が重要であるが、収益性確保の点では不安要素も多く、市に対して指導や課題解決の取組を進める必要があるとの意見がある。

事務事業名	地域おこし協力隊集落営農連携モデル事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	協力隊として広域連携組織での検討などの経験を積み重ねることで、地域特性の把握や検討スキルの向上が期待されるため、成果向上余地がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	効率的な事務執行に努めており削減余地はない。	
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	過疎化・高齢化が進む中山間地域にとって、地域農業、集落を支える人材の育成・確保が喫緊の課題であり、本事業の取組が市全体の課題解決につながるため公正である。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>協力隊員としての経験を積み重ねることで地域特性把握や業務スキル向上が図られるとともに、地域の実情に即した取組となるよう指導する。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		